

お知らせ

記者発表資料	令和3年3月30日
配布日時	14:00

■同時発表先：鳥取県政記者クラブ、島根県政記者会
米子市政記者クラブ、松江市政記者クラブ
出雲市政記者クラブ

斐伊川水系流域治水プロジェクトを策定しました

～流域のあらゆる関係者が協働して『流域治水』に取り組みます～

近年、全国各地で激甚な水害が頻発していることや、気候変動による降雨量の増大、水害の激甚化・頻発化が予測されていること等を踏まえ、今後の水災害リスクの増大に備えるために、流域のあらゆる関係者が協働し、氾濫域も含めた流域全体で水害を軽減させる治水対策、「流域治水」への転換を推進しています。

斐伊川水系では、国・県・市町等が連携して「斐伊川流域治水協議会」を設立し、流域治水の全体像について「斐伊川水系流域治水プロジェクト」（以下、「本プロジェクト」という。）としてとりまとめを進めてきました。

本プロジェクトでは、斐伊川は、天井川のため、一度氾濫が発生すると被害が甚大化するおそれがあり、中海と宍道湖を結ぶ大橋川周辺は、低平地で水はけが悪く、浸水被害が長期化するおそれがあるといった特徴があることを踏まえ、大橋川改修、中海湖岸堤整備をはじめとした河川対策や下水道整備、農業水利施設の整備等による内水対策、砂防、治山対策等の氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策を進めるとともに、立地適正化計画に基づく水害リスクの低い地域への居住誘導等の被害対象を減少させるための対策を実施します。あわせて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制を構築し、ホットラインを含めた確実な避難行動に資する情報発信等の取り組みを実施し、「逃げ遅れゼロ」を目指すこととしています。

今後は、本プロジェクトに基づき、あらゆる関係者が協働して、ハード・ソフト対策が一体となった事前防災対策を加速化させ、水災害対策を推進します。

■斐伊川水系流域治水プロジェクトウェブサイト：

<https://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/iinkai/ryuikichisui/index.html>

<問合せ先>

斐伊川流域治水協議会事務局

国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所

副所長(技)

ほそだ よしお
細田 佳男

計画課長

ふじい やすひろ
藤井 泰宏

電話 0853-20-1761(計画課直通)

斐伊川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～斐伊川治水3点セットの総仕上げ～

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、斐伊川水系においても、事前防災対策を進める必要があります。
- 砂河川である斐伊川は、河口部等の下流域に土砂が堆積しており、典型的な天井川を形成していることから、一度氾濫が発生すると被害が甚大化するおそれがあります。また、中海と宍道湖を結ぶ大橋川は、断面が小さく水はけが悪いことに加え、周辺は低平地のため氾濫した場合、浸水被害が長時間継続するおそれがあるといった特徴があります。昭和47年7月洪水により、松江市街地が一週間にわたり浸水被害が発生したこと等を踏まえ、大橋川改修や内水対策等の事前防災対策を進めます。
- 以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、流域で甚大な被害が発生した戦後最大の昭和47年7月洪水と同規模の洪水に対して、家屋浸水を防止し、流域における浸水被害の軽減を図ります。あわせて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制を構築し、ホットラインを含めた確実な避難行動に資する情報発信等の取り組みを実施し「逃げ遅れゼロ」を目指します。



● 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・ 堤防（湖岸堤含む）整備、河床掘削、河道拡幅、堤防強化対策、河道付替、放水路整備、水門整備、排水ポンプ増設、樹木伐採
- ・ 農業水利施設の整備、排水機場の更新・改修等
- ・ 下水道等の排水施設（雨水管渠、雨水ポンプ場等）の整備、雨水ポンプ場整備（ポンプ増設、耐震化）
- ・ 利水ダム等11ダムにおける事前放流等の実施、体制構築（関係者：国、島根県、中国電力（株）等）
- ・ 砂防設備、急傾斜地崩壊対策施設、地すべり対策施設の整備
- ・ 治山対策、森林整備（国、機構、県、公社、市町、林業事業者）

● 被害対象を減少させるための対策

- ・ 立地適正化計画に基づく水害リスクの低い地域への居住誘導

● 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・ 防災学習、出前講座、研修、訓練等を通じた地域住民・企業等への意識啓発
- ・ マイ・タイムラインの普及促進
- ・ 各種ハザードマップの作成・更新
- ・ まるごとまちごとハザードマップの推進
- ・ 水害リスクの高い危険な箇所の点検と周知
- ・ 情報配信ツールを活用した防災情報の提供（伝達手段の多重化）
- ・ 感染症に配慮した避難所環境の整備
- ・ 地域防災体制の構築支援
- ・ 水位計・監視カメラの設置
- ・ 高潮浸水シミュレーション（想定最大規模）の実施・公表 他

立地適正化計画の策定

より安全な地域への居住・都市機能を誘導する取組がまちづくり

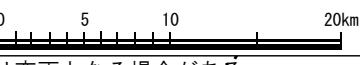
防災指針の検討イメージ

防災学習等を通じた地域住民・企業等への意識啓発

水防災教育支援

凡例

- 県境
- 流域界
- 大臣管理区間
- 既設ダム(直轄)
- 浸水範囲(昭和47年7月洪水実績)



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

斐伊川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～斐伊川治水3点セットの総仕上げ～

○ 斐伊川水系では、昭和47年7月洪水を契機に上流、中流、下流の流域全体で治水を負担することとし、上流の尾原ダム・志津見ダム、中流の斐伊川放水路が完成し、斐伊川治水3点セットの総仕上げとして、下流の大橋川改修と湖岸堤整備等を推進しており、これにあわせて国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】

松江市街地での浸水被害を防止・軽減するため、大橋川改修を実施。あわせて、近年被害が頻発している中海の湖岸堤整備を実施。
また、下水道等の整備、防災指針の策定を推進し、ソフト対策として、マイ・タイムラインの普及促進、ハザードマップの更新等を実施。

【中長期】

引き続き、大橋川改修、中海湖岸堤整備を推進するとともに、斐伊川の堤防強化、穴道湖の湖岸堤整備等を実施。
あわせて、農業水利施設の整備、治山・森林整備等を推進するとともに、ソフト対策として、防災学習等の推進、住民等への情報伝達手段の多重化等を実施。

【ロードマップ】

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

区分	対策内容	実施主体	工程	
			短期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	大橋川改修、中海・穴道湖湖岸堤整備、斐伊川堤防整備・堤防強化	中国地方整備局	大橋川狭窄部の拡幅(下流) 中海湖岸堤整備(短中期箇所) 斐伊川本川堤防整備	大橋川狭窄部の拡幅(上流) 穴道湖・中海湖岸堤整備(中長期箇所) 斐伊川本川堤防強化
	河道拡幅、河床掘削、堤防整備、河道付替	鳥取県、島根県	河道拡幅・河床掘削・堤防整備等(短中期箇所) 河道拡幅・河床掘削・堤防整備・放水路整備・樹木伐採等(中長期箇所)	
	排水ポンプ・雨水ポンプの整備、雨水管渠整備、普通河川の拡幅・浚渫等	島根県、米子市、境港市、松江市、安来市、雲南市	雨水管渠整備(安来市) 雨水ポンプ増設(島根県) 普通河川の拡幅・浚渫等(短期箇所)	ポンプ増設・耐震化(安来市) 雨水ポンプ整備(境港市)、雨水管渠整備(松江市) 普通河川の浚渫等(中長期箇所)
	農業水利施設の整備、排水機場の更新・改修等	中国四国農政局、島根県	排水機場の改修等(農政局) 排水機場の更新(農政局)、農業水利施設整備(島根県)	
	治山対策・森林整備	近畿中国森林管理局、森林研究・整備機構、島根県、島根県林業公社、松江市、出雲市、安来市、雲南市、奥出雲町、飯南町、林業事業体	流域内(国有林整備、水源林整備、保安林整備、造林事業)	
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画に基づく居住誘導	松江市、雲南市	計画策定	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災学習、出前講座、研修、訓練等を通じた地域住民、企業等への意識啓発	中国地方整備局、鳥取県、島根県、各市町		
	住民への情報伝達手段の多重化等	鳥取県、島根県、出雲市、安来市、雲南市、奥出雲町	奥出雲町 鳥取県、島根県、出雲市、安来市、雲南市	
	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成支援	鳥取県、島根県、出雲市、雲南市、奥出雲町、飯南町	出雲市 鳥取県、島根県、雲南市、奥出雲町、飯南町	

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

■事業規模

河川対策 (約1,410億円)
下水道対策 (約33億円)